

授業科目名： **組織論 概説**
科目区分： 組織・人的資源（コア）
必修・選択の別： 選択
配当年次： 1・2 年次
単位数： 1 単位（学習期間 1/2 学期）
担当教員： 南 学
オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。
（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

仕事を進める上で、個人と組織との関係は避けて通れない。経営資源であるヒト、モノ、カネは組織の中で生きることになる。組織論にはさまざまなアプローチがあるが、本講では、組織論の入門編として、当初は個別の特殊事象として捉えられる組織の問題を、課題解決を図る方向で把握し、組織論の概要を客観的に把握する手法を、実践的な視点から解説する。

2. 学習目標

「部下が働かない」「上司が無能」「上層部に危機感がない」というような、組織の課題がなぜ生じるのか。その解決策はあるのか。仕事上で、日常的に感じる経営上の課題を、組織論のアプローチによって客観的に捉え、優れた組織経営への展望を考える契機となるような、基本的な手法を学習し、実践できるようになることを目標とする。

3. 授業計画

第 1 章 組織論へのアプローチ（不満を客観的に捉える）

- ・組織論を学ぶ
- ・組織論の基礎はコミュニケーション
- ・学問としての組織論

第 2 章 ミクロ的組織論

- ・サッカーのフォーメーションから
- ・経験からの行動分析
- ・ミクロ的組織論の基礎

第 3 章 個人をどう動かすか

- ・中間層の底上げが基本
- ・行動をふやす手法
- ・ほめることの大切さ

第 4 章 科学的な行動分析

- ・単純な因果関係の発想からの脱却
- ・行動のフィードバック
- ・行動を促す手法

第 5 章 マクロ的組織論へのアプローチ

- ・組織とはなにか
- ・オープンシステム
- ・組織設計の基礎

第6章 組織論の歴史

- ・人間社会の変遷と組織論
- ・組織論の発展形態
- ・組織論の特徴

第7章 組織の基本構造とデザイン

- ・組織の基本型
- ・分業の形態別組織構造
- ・分業の基本

4. 受講上の留意点

大学の既定のスケジュール通りに遅延なく受講してください。

5. 成績評価基準

出席率（20%）＋小テスト（30%）＋レポート（50%）

6. 必読書籍

特にありません。

7. 参考書籍

「組織デザイン」、沼上幹（日本経済新聞出版社）

「経営組織」、金井嘉宏（日本経済新聞出版社）

「すぐれた組織の意思決定」、印南一路（中央公論新社）

「行動分析学マネジメントー人と組織を変える方法論」、舞田竜宜、杉山尚子（日本経済新聞出版社）

「短期間で組織が変わる行動科学マネジメント」、石田淳（ダイヤモンド社）

8. その他

組織論に関心を持ち、組織を客観的に分析する必要性を感じている方への基本的な考え方の解説が中心となります。